

佐渡市立両津小学校 アスベスト健康対策等 専門委員会ニュース

2011(平成23)年9月20日発行 **第5号**

Index

1. 第9回専門委員会の内容について
2. 委員のご紹介
3. 胸部レントゲン写真の読影・保管に関するQ&A

発行：佐渡市立両津小学校アスベスト健康対策等専門委員会

事務局：佐渡市教育委員会学校教育課 学事指導係 〒952-8501 佐渡市両津湊 198 番地

Tel. 0259-23-4894 Fax. 0259-23-4900 E-mail k-gakko@city.sado.niigata.jp

URL <http://sougo.city.sado.niigata.jp/kyouiku/gakkou/osirase/20081105.jsp>

ご不明な点や、ご意見・ご要望等がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

1. 第9回専門委員会の内容について

今年度、当委員会は2期目(1期目任期は平成19年度～平成22年度)を迎え、会議に先立ち教育長から委嘱状が交付されました。新委員長には名取雄司委員が選任され、新体制がスタートしました。

会議では、高校1年生の胸部レントゲン写真の読影状況について報告があり、来年度も同様に実施することになりました。また、今回佐渡市関係課長(建設課、財務課)が出席し、今後予定されているアスベスト除去工事が安全に実施されるよう確認しました。

なお、今後の健康リスク・心理相談は平成24年8月25日(土)に開催予定となりました。後日申込書を送付いたしますが、相談日以外で相談をご希望の場合は事務局までご連絡ください。



【委員長あいさつ】

今回土屋先生の後任として委員長に選出されました名取雄司です。東京他で石綿関連疾患の方の呼吸器内科の外来診療、石綿健診の読影、NPOで石綿関連疾患の予防活動等を行う毎日を過ごしています。

佐渡を訪れると自然と文化の奥深い島であることに魅了されます。お子さんの健康を第一に委員・事務局の皆さんと協力し、今後の委員会および健康リスク心理相談を運営していきたいと思っております。

高校生となる子供さんも増え喫煙の誘惑がおきる時期ですが、喫煙は肺癌・心疾患をはじめ様々な疾患を起こします。石綿関連疾患の予防のためにも決して喫煙はさせないようにしていただきたいものです。今後とも宜しく願い申し上げます。

2. 委員のご紹介

今期の委員は以下の10人の方々です。

氏名	所属等
土屋 俊 晶	(財団法人)新潟県保健衛生センター 常務理事 (国立病院機構 西新潟中央病院名誉院長)
園 田 裕 久	新潟県佐渡保健所長
名 取 雄 司	(医療法人社団)ひらの亀戸ひまわり診療所 (東京)
岩 田 文 英	(新潟県厚生農業協同組合連合会)佐渡総合病院 副院長
岩 谷 淳	市立両津病院 副院長
三 國 榮	三国医院院長
福 嶋 正 和	保護者代表
神 蔵 志 保 子	保護者代表
長 嶋 洋 一	両津小学校 校長
永 井 美 穂	臨床心理士

3. 胸部レントゲン写真の読影・保管に関するQ & A

Q1 胸部レントゲン写真を読影・保管するのは何故ですか？

A1 2026年の健康診断開始(※注1)以降の石綿関連疾患の診断で、胸部レントゲン写真が一定の役割を果たしていると推定されますが、微細な変化のチェックには過去のレントゲン写真と2026年の時期のレントゲン写真を比較する比較読影という方法をとる事が基本とされています。

当時小学生だった方が高校入学時には、潜伏期から石綿関連疾患が生じる時期ではありません。しかし現時点で正常なら正常で、軽微でも異常があるなら異常として将来のために胸部レントゲン写真を保管しておきますと、2026年以降の健診の読影の比較に使用できます。このため全員の方が撮影される高校入学時のレントゲン写真の保管をお願いする次第です。

検査機関では5年で保管義務がなくなり、廃棄される場合が多いとされています。お預かりしたレントゲン写真は、佐渡市役所の専用棚に生涯保管の予定です。

(※注1)

アスベスト関連疾患は、事故から10年～20年以内に発症することは極めてまれであり、この間の健康診断は不要と考えられている。そのためアスベストに関する、委員会が推奨する健康診断の実施時期は、事故から20年後(2026年)以降とし、健康診断を希望する人を対象とする。

またその費用は佐渡市が負担するものとする。(委員会ニュース第3号より抜粋)

Q2 レントゲン写真はどのように読影され、どのように結果が通知されるのですか？

A2 高校生の健康診断のレントゲン写真は肺結核等のチェック等が主な目的のため、乳幼児でのお気づきにならない程度の肺炎の跡、「肺のう胞」などの軽微な変化があった場合では、「結果 正常」として皆様に通知が送られた場合も多いと思います。

今回の読影では、複数のアスベスト専門医がレントゲン写真を詳細に読影し、肺炎の跡、「肺のう胞」などの軽微な変化もご報告させて頂く予定ですので、学校から「正常」との結果をもらった方の一部に、「異常あり」との読影結果が届く場合がある点をご理解頂きたいと思います。

高校の健康診断で使用されるレントゲン写真はサイズの小さい間接撮影フィルムで、病院等で使用される直接撮影フィルムと比して微細な変化が判明しにくい場合もある点はご了承ください。

読影等に関して不明な点がありましたら、事務局にご質問、ご相談ください。読影結果等に関しては健康リスク相談・心理相談もご活用ください。

胸部レントゲン写真の読影・保管を希望された方は、昨年度4人、今年度は7人でした。来年度も実施しますので、希望していなかった高校生および教職員の方もどうぞお申し込みください。



社会情勢や医療の発展に応じた対策を講じる必要から、将来に渡り、専門委員会ニュース発行時などに合わせて現住所(あて先)の確認を行ってまいります。

引越し等であて先が変更になったときには、事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。(特に島外へ転出した方々についてはよろしく願いいたします)